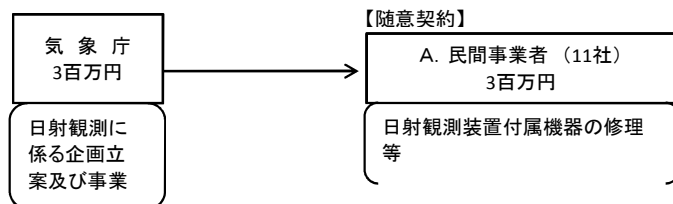


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	日射観測		担当部局庁	気象庁 地球環境・海洋部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	環境気象管理官		環境気象管理官	佐々木 徹		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条 他) 地球温暖化対策の推進に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	第4次環境基本計画(平成24年4月27日閣議決定) 京都議定書目標達成計画(平成20年地球温暖化対策推進本部全部改定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気候変動に影響を及ぼす日射放射の観測・監視を実施し、その成果を温暖化予測モデルの不確実性低減等の基礎データとして提供する。また、世界気象機関(WMO)の第II地区(アジア)放射センターとして、世界均質な日射観測を地区内で実施するため、日射計地区基準器の維持・管理を行い、アジア地区内各国及び日本国内の日射計基準器の較正を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国5官署(札幌、つくば、福岡、石垣島、南鳥島)において、日射放射観測(直達日射照度、散乱日射照度、下向き赤外放射照度)を実施し、観測データは、品質を確認した後に統計処理を行い公表する。また、世界気象機関(WMO)の第II地区(アジア)放射センターとして日射計地区基準器の維持・管理を行い、アジア地区内各国及び日本国内の日射計基準器の較正を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	2	3	3	3	46		
	執行額	2	3	3					
	執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	地球環境に関する気象情報について、平成24年度は、2件の新規の情報提供を目標とする。平成25年度は、2件の改善又は新規の情報提供を目標とする。※			成果実績	件	11 (累計)	16 (累計)	2	2
				達成度	%	73	107	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	観測回数 (観測種目数×時間数×日数) (直達日射照度等3種目)			活動実績 (当初見込み)	回	26,280	26,352 (26,352)	26,280 (26,280)	- (26,280)
	情報数 ・刊行物発表回数(理科年表等3種×年1回) ・報告回数(世界放射センター等3箇所×年12回) ・気象庁ホームページ(年12回)			活動実績 (当初見込み)	回	39	39 (39)	40 (39)	- (51)
単位当たりコスト	114 (円/回)		算出根拠	24年度執行額/24年度観測回数					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	0.09	0.09	・日射計基準器の更新による増43					
	観測予報庁費	3	46						
計	3	46							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・日射放射の継続的な観測及び監視は、温室効果ガス等が気候変動に与える影響を把握するだけでなく、太陽光発電等の新エネルギー利用促進に必要な基礎データとなるため、広く国民のニーズがあり、政策の優先度の高い事業である。 ・世界気象機関(WMO)の第II地区(アジア)放射センターとして、日本だけでなくアジア地区内各国の基準器を維持管理し国際貢献を果たしているため、国が実施すべき事業である。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・観測装置の較正等の専門的技術を要する契約以外については、できる限り一般競争入札により契約するよう努めている。 ・調達内容を吟味し、コスト削減に努め、無駄のない予算の執行に努めている。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・日射放射の観測及びデータの公表は、気象庁HPや、世界放射モニタリングセンターを通じて世界中に無償で提供されている。これらのデータは、温暖化適応策を検討する上で重要な資料を提供しており、温暖化予測モデルの精度向上や、科学的知見の蓄積に必須となる基礎データとして活用されている。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>地球温暖化等の気候変動の監視及び温暖化予測モデルの不確実性を低減するためには、気候変動を引き起こす要因の一つである太陽放射(日射)及び下向き赤外放射を高精度かつ長期的に観測することが必要不可欠である。日射データは、新エネルギーである太陽光発電および太陽熱利用の促進に必須の基礎データである。観測データは、気候研究目的のため、世界中で活用されている。このため、本事業を継続する必要がある。また、事業の実施に当たっては、競争性の確保等による効率的な調達方法の実施に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの削減に努めるべき。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	日射計基準器の更新による増額					
	チームの所見を踏まえ、引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの削減に努める。					
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・日射・赤外放射などの解説及び観測成果等については、以下の気象庁ホームページにおいて公開している。 気象等の知識「地球環境・気候」：http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kikou.html 気象統計情報「地球環境・気候」：http://www.data.kishou.go.jp/climate/index.html 						
※平成19年度から平成23年度までの成果目標は、各年度に3件(5年間で計15件)の地球環境に関する気象情報の改善又は新規の情報提供を行うものであり、100%達成した。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0502	平成23年	0479	平成24年	0510

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

旅費
90千円 ※

※少額のため千円単位

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (株)睦コーポレーション			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日射観測装置付属機器の修理	0.9			
計		0.9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)睦コーポレーション	日射観測装置付属機器の修理	0.9	随意契約	-
2	(株)ブリード	赤外放射計の較正 等	0.8	随意契約	-
3	英弘精機(株)	サンフォトメータの修理	0.7	随意契約	-
4	(株)筑波山京成ホテル	日射計相互比較観測会場の借上げ	0.2	随意契約	-
5	江藤電気(株)	日射計点検用測定器の点検	0.2	随意契約	-
6	(財)日本品質保証機構	測定器の校正	0.09	随意契約	-
7	(有)ナカショウ	観測用天窓カバー外壁塗装	0.08	随意契約	-
8	(株)PGE Language	英文校閲(数値予報アウトライン他)	0.02	随意契約	-
9	(株)アルファ電子	Rダイヤルモータの修理	0.01	随意契約	-
10	(株)第一文真堂	ファイル他の購入	0.002	随意契約	-